

R4^週8^休 ROADMAP

ひとつ「働き方」を変えてみよう!



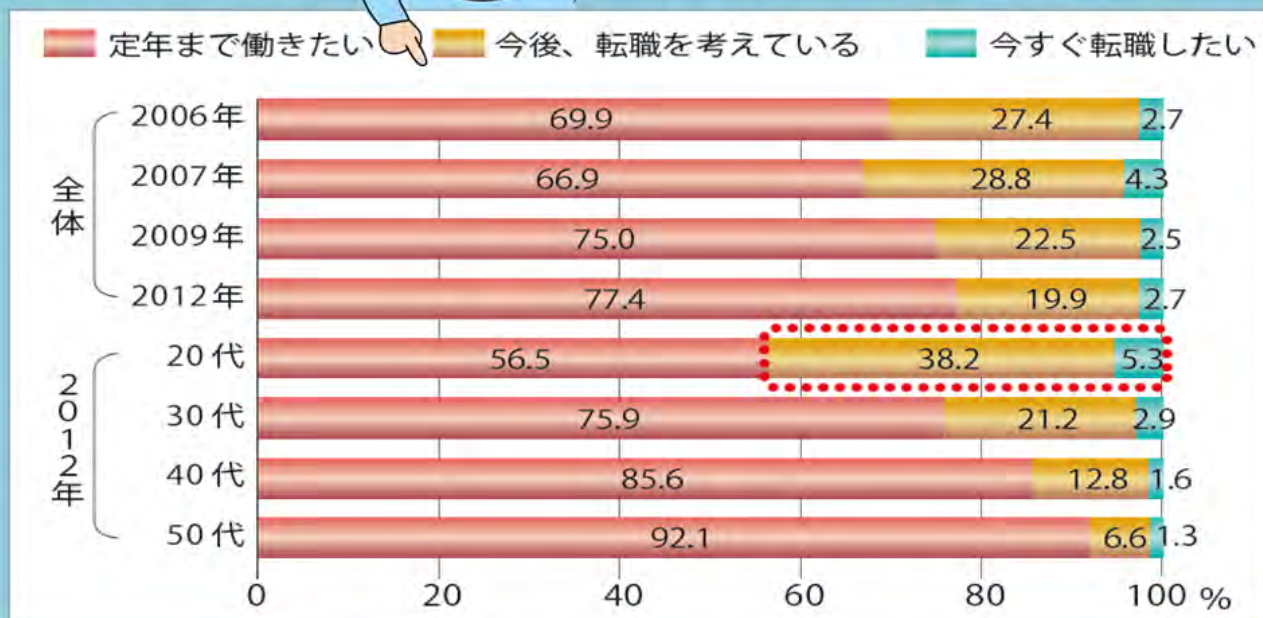
カエル! ジャパン
Change! JPN

[アールよんぱち] 2013.5.24 No.16

今の会社でいつまで働きたいか



20代の4割以上が転職を
考えているんだ・・・最も多い理由
が「労働時間が長い」。産業の未来の
ためにも、長時間労働の解消は急務
だね。



出典：日建協「2012 時短アンケートの概要」

土木提言

国土交通省 地方整備局提言

土木作業所で働く組合員の声を届ける!

時短

「2012時短アンケートの概要」 全職種で所定外労働時間が増加!

コラム

休日の楽しみ ～野球コーチ編～



次号予告

■産業政策活動

2013年6月8日統一土曜閉所結果

■提言活動

■コラム

お知らせ

「Roadmap48」とは

建築工事の4週8休(週休2日制)での工期設定の実現や、公共工事における労働条件向上と諸課題の解決にむけた提言活動など、日建協の活動を組合員の皆さんに知っていただくための広報誌です。

①組合活動の資料として、②職場での情報交換の材料としてご活用ください。

- 次号の予定は変更する場合があります。
- この広報誌は日建協ホームページからダウンロードできます。

<http://nikkenkyo.jp>

日建協

国土交通省地方整備局提言

土木作業所で働く組合員の声を届ける！

2013年5月、日建協では土木（公共）工事に従事する組合員の問題解消をめざして国土交通省の全国8地方整備局と北海道開発局に対して提言活動を開始した。

提言は、2012年10月に行った土木作業所アンケートで集まった組合員の声をもとに作成されており、「総合評価落札方式」「工期設定」「国土交通省の施工円滑化にむけた施策」「片務性」について、改善を求める内容となっている。

地方整備局からは、企画部や建政部などの実務担当者が出席し、組合員の生の声を真摯に受け止め、提言に対し回答を得ている。

日建協では、土木作業所の問題解消には、まず国土交通省の作業所からとの考えで提言を行なっているが、本提言による改善策がその他の発注者の作業所に波及するよう取り組みを行っていく。



さいたま新都心にある関東地方整備局

コラム

休日の楽しみ



飛鳥建設労働組合
神谷 直樹 さん

野球コーチ編

私の休日の楽しみは少年野球のコーチです。2年前、小学4年の息子が少年野球チームに加入したことをきっかけに、毎週グラウンドに通っているうち昨年からコーチに就任しました。近年、すっかりサッカー人気に押されがちな野球ですが、息子の加入したチームは2年生から6年生の児童30名が所属し、発足からも約40年と歴史のあるチームです。この春からは息子がキャプテン、妻もマネージャーとなり、まさに一家総出で野球漬けの休日を過ごしています。

正直、毎日片道2時間の長距離通勤をしているので休日くらいゆっくり寝たいし、そもそも野球経験も中学どまりの私にコーチなど務まるのかと不安もありました。しかし、技術的な部分以外にも挨拶や声出し、道具やグラウンドの手入れなど教えることは山ほどあり、つつい熱くなりながら私はよそ様の子供を大声で叱ってしまう事もしばしば…。気がつけばすっかりハマっていました（恥笑）。

また、ひとたび試合になれば子供達は真剣そのもの。表向きには渋顔でベンチに陣取る私も、アウトを取るたび、1点入るたびに心の中で一喜一憂し、勝利の暁には不覚にも涙してしまうことすらあります。試合に勝利した時の子供達の笑顔は最高で、コーチを引き受けて良かったと心から思う瞬間です。

息子も6年生、私も今年限りでコーチ引退です。残り半年余り、チーム運営を取り仕切る妻とも協力しながら、精一杯子供たちとの時間を楽しみたいと思っています。

時短

2012時短アンケートの概要

全職種で所定外労働時間が増加！

日建協は「2012時短アンケートの概要」を発表した。組合員の所定外労働時間は増加の一途を辿っており、今回の調査では、日建協平均で、68.6時間／月となった。全職種で所定外は増加しており、特に外勤技術系では、外勤土木が87.0時間／月、外勤建築は99.1時間と、ともに過去10年間で最高の値を示した。

休日の取得状況については、日曜日は全職種でほぼ取得できているものの、土曜・祝日の休日取得は、外勤者の場合、暦上の日数の半分以下となっている。外勤者には自分の作業所の工程表上の休日設定について聞いてみると、実に全体の7割が4週4休以下であり、特に外勤建築は83.3%が4週4休以下の工程で工事を行っていることが分かった。毎年調査している「建設産業に魅力を感じる組合員の割合」は、46.2%と前回調査に比べ2.9%低下した。外勤者の「魅力を感じない理由」の1位は「労働時間が長い」だった。今回は、3年ぶりに「生

2012 時短アンケートの概要

生活実態・意識調査
調査時期 No.262 ダイジェスト
2013年4月



日本建設産業労働組合連合会
http://nikkenkyo.jp

活実態・意識調査」も行っており、「組合員の暮らし」についても調査した。男性既婚者の約8割が「家計に余裕がない」と回答しており、組合員の家計の苦しい実態が明らかになった。